



令和6年2月

第366回定例県議会にて「一般質問」を行いました

- 1 「救急安心センター事業 #7119」の
全県展開について
 - 2 自転車用ヘルメット購入応援事業について
 - 3 プレコンセプションケアの推進について
 - 4 姫路の宿泊需要拡大に向けた取組について
 - 5 豊かな海に向けた
カキ殻の有効活用について
 - 6 国道250号線広畑地区の
4車線化の整備促進について
 - 7 交差点名標識の点検と更新について
- 質問と答弁の一部をご紹介します

1 「救急安心センター事業 #7119」の全県展開について

質問 救急車を呼ぶか迷った時、医師や看護師等が電話相談に応じる「救急安心センター事業 #7119」の、実施自治体は、神戸・芦屋・姫路の3市。隣接市町の住民への配慮により認知度も伸び悩んでいる。県内全域で #7119 を展開することが、救急車の適正利用、救急医療の維持につながると考えるが、検討状況と今後の方向性について。

遠藤防災監兼危機管理部長 来年度、県内市町に対しまして、#7119 事業への参加意向を確認した上で、県市町で構成する協議会の設置など、適切な実施体制、費用負担の在り方等の課題、PR方法も含め具体的な検討を行う。利用者に混乱を来さないため、全市町の一斉導入を目指してまいります。

3 プレコンセプションケアの推進について

質問 晩婚化や不妊に悩む方が多くなっている。将来の妊娠出産に備えるため、思春期から体について適切な知識、情報を得て、自分たちの生活や健康に向き合う「プレコンセプションケア」(妊娠前からのケア)が大切。行政や企業等への周知や、学校教育と連携して段階的にプレコン教育を取り入れていくべきと考えます。

齋藤知事 来年度から、高校生、大学生を対象に、助産師の方など講師として派遣する出前講座を実施していく。また、プレコンセプションケアの周知についての啓発動画や不妊治療の応援サイト、SNS などを通じて、若い世代への情報発信を強化する。全国初となる不妊治療に特化した条例制定に向け、検討に着手したい。

7 交差点名標識の点検と更新について

質問 劣化が進み文字が消えているため、交差点名が読めない標識が多く、目印の役割を果たしていない等の声が多い。他府県において劣化した交差点名標識板が落下し、歩行者がケガをされた。来年に大阪・関西万博もあり、本県に訪れる方が安全かつ円滑に移動できるよう、交差点名標識の早急な総点検と必要な更新を実施すべきでは。

杉浦土木部長 来年度から全ての交差点標識を対象として安全点検を行います。この安全点検に併せて、文字が見えにくくなっているといった状況の点検も行い、順次標識を更新していく。また更新に当たっては、夜間の視認性がよく、その機能が長続きするような耐久性の高い製品を使用します。



齋藤元彦兵庫県知事

姫路視察!!

国道250号広畑地区 & 学校付近の横断歩道



一般質問で取り上げました地元、広畑(吾妻二丁目～正門通四丁目)の国道250号の4車線化について、齋藤知事は「交通量が多く朝夕を中心に慢性的な渋滞が課題。まずは、姫路広畑地区をモデルにスマホの位置情報データを活用して通行ルートや時間帯等分析し、渋滞緩和するソフト対策をすすめる。4車線化については、市と連携して検討を進めていく」と説明。



学校付近の横断歩道について、齋藤知事は「今、県内で横断歩道の交通事故が急増している。学校や商店街のまわりなど、日常的に使う横断歩道が消えかかっているとの声も強い。姫路市の学校付近の横断歩道を視察し、改めて対策が急務と実感した。」と言及。
※交通事故防止の緊急対策「横断歩道等安全対策プロジェクト」の詳細は裏面に!

令和6年度当初予算編成について、県民からの切実な声を政策提言としてまとめ申し入れを実施しました。

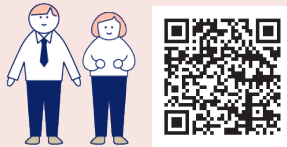


- ✓ ① 帯状疱疹ワクチン接種の助成制度創設
 - ✓ ② 高等教育費の負担軽減策の充実
 - ✓ ③ 県内就職者向け奨学金返済支援の拡充
 - ✓ ④ 原油・原材料価格の高騰や為替相場の影響を受けやすい企業などへの支援
 - ✓ ⑤ 不登校特例校や校内フリースクールの設置推進
- の最重点要望5項目をはじめ、計467項目を要請した。

不妊治療支援の強化

令和6年度予算

公明党は長年、不妊治療の支援を訴え、国では保険適用が開始。県ではこれまで不妊治療のペア検査費用の助成を実現。令和6年度より、さらに安心して不妊治療が受けられる支援の強化が決定!!



兵庫県不妊治療応援サイト

1 経済的負担の軽減 ①②とも所得制限なし

① 保険適用外の先進医療費を助成 **新**

対象	県内医療機関で先進医療を受けた者 (43歳未満)
助成額	1回(1クール)あたり3万円 (回数制限なし)

回数制限のない先進医療費助成は全国初

② 先進医療にかかる通院交通費を助成 **新**

対象	本人(同行者は対象外)
助成額	1回(1クール)の治療にかかった通院交通費の合計額から5,000円*を控除した額の1/2以内の額
対象手段	①鉄道運賃 ②特急料金 ③バス ④自家用車 ⑤高速道路料金

*県内市町から神戸市内までの平均交通費(往復)

③ デジタル化による申請受付の簡便化 **新**
・オンライン申請受付「e-ひょうご」を活用

2 不妊治療と仕事の両立 **新**

- ・管理職を含めた企業向けセミナー開催
- ・健康づくりチャレンジ企業向け支援

3 プレコンセプションケア推進 **新**

- ・高校生、大学生を対象に妊娠・出産を含む健康についての出前講座などを実施

4 普及啓発

- ・SNSやチラシ、ポスターによる情報発信(医療機関、行政機関、学校、企業など)
- ・不妊治療応援サイトの活用(R6.2.1~)

5 不妊治療支援特化条例の創設 **新**

- ・企業の取組促進や教育現場の理解促進を図るための条例制定

不妊治療支援に特化した条例は全国初

奨学金返済支援制度の拡充

令和6年度予算

兵庫型奨学金返済支援制度を、企業の人材確保・定着やU・I・ターン促進、これから結婚・子育てをする若者・Z世代へのさらなる支援として令和6年度から拡充。

拡充概要 ①対象年齢の緩和 ②補助期間の延長



詳細はこちらから

	対象年齢	補助期間	補助総額
現行	30歳未満	最大5年間	90万円 (うち県60万円、企業30万円)
拡充後	40歳未満	最大17年間 県で定める認定制度取得時	306万円 (うち県204万円、企業102万円)

帯状疱疹ワクチン接種 助成事業を実現

令和6年度予算

県議会公明党が、令和4年9月定例会より、何度も知事に要望した結果都道府県としては、東京都に次ぐ2番目に帯状疱疹ワクチン接種助成事業が実現。

- 補助率等** 市町助成事業に1/2補助 <例> 市町同額の場合、合計補助額は4,000円(上限額:2,000円)
- 補助対象** 接種日現在で満50歳以上の方
- 補助回数** 生ワクチン不活化ワクチンとも1回
- 実施期間** 令和6年度
*令和7年度以降は、令和6年度の市町の実施状況を踏まえ対応を検討

市町随伴事業のため、事業実施状況等については、各市町にお問い合わせください

兵庫県の施策として実現!!

自転車ヘルメットの着用推進キャンペーン延長が決定

令和5年度9月補正予算

「命守る手段として定着させたい」と公明党が強く要望し、実現。



自転車用ヘルメット着用が努力義務化!

非着用時致死率着用時の約2.1倍

ヘルメット1個につき
4,000円相当
ポイント還元

(1,000円未満切り捨て)
給付上限に達したら受付終了となります。

自転車乗車用ヘルメットを購入した

- ▶ 65歳以上の方 ▶ 子育て世帯
- ▶ 学生の方が対象

— 申請受付中 —

コールセンター
0120-134-076



横断歩道等安全対策プロジェクト

令和5年度2月補正予算

公明党は、横断歩道等に関する皆様からのお声を、日頃から議会質問等で知事や県警等に要望。県は、緊急対策として、消えかかった横断歩道やセンターライン等、約10,000箇所の引き直しを決定!!

(摩耗率イメージ)



- ・引き直し箇所摩耗率51%以上の横断歩道
- ・センターライン等区画線の引き直し
- ・自転車レーン等のカラー舗装の引き直し等